

4月25日

最初に研究内容、地域資料における課題やプロジェクトの進め方を出しあったのち、時間のおよそ6割ほどは自分の地元について雑談をしていました。他のメンバーの話を聞く中で、非常に問題の核心に迫った意見を述べている人や、地元の話の中で地域における共通課題が見えてくるなど非常に有意義な時間となったと思います。今後は今回のGWで出た意見も意識しながらデジタルアーカイブ活動を行っていきたいと思いました。

5月9日

今回は菅平を訪問し、ICT教育と小中学生との関わりについて打ち合わせを行いました。感想としましては、菅平では小規模な人口による学校運営を強いられている反面、それにより子供たちが主体的に考えて行動する機会が多く、また感性が鋭いことが分かり、その感性をICT教育でどのように伸ばしていくのかが重要になっていくと感じました。菅平中学校との打ち合わせでは、長大と菅平中がclassroomやmeetを介してコミュニケーションの場を設けることが挙げられていましたが、この「コミュニケーション」こそが感性の高まりには必要であると考えているので、この案以外でも例えば自分が今行っているデジタルアーカイブ活動でも何かしらコミュニケーションに役立つ要素がないかを探し、それを生かすことも出来ると思いました。

5月16日

今日のGWでは、主に藤本蚕業のデジタルアーカイブにおける課題や具体的に何をしたいのかについて話し合いました。その中で特に良いと思った点が、ファミリーヒストリーに関する内容で、蚕糸業という一つの視点のみでアーカイブを構成するのではなく、当時を生きていた人々にも焦点を当ててアーカイブを作りたいと感じました。しかしそれを構成するには個人情報の問題がありますが、それらをどのように対処していくかが今後のデジタルアーカイブの課題であると思いました。このように蚕糸業の資料をあえて蚕糸業以外の部分から切り込んでいくことは、自分の探究テーマにも生かしていきたいと考えました。

5月23日

今日のゼミでは、藤本蚕業歴史館及び塩尻公民館に行ってきました。歴史館では館内に目録化され保管されている資料を閲覧し、どのような資料があるのかを確認しました。その中で、金額が書かれている資料が多く、それらの価格を見合わせることから歴史観を紐解いてみたいと感じました。公民館では西部地域のこれからの活動について話し合い、歴史的価値の広め方やデジタル化をどのように扱っていくかについての社会的な意見や状況を知ることができました。

5月30日

今日は藤本蚕業歴史館でプロジェクトの方向や歴史館の現状などについて話し合いました。その中で、猫瓦についての話が特に印象的で、猫瓦を一つの題材としてデジタル・アーカイブに出来るかどうかは興味深い案だと思いました。現状としては、藤本蚕業は日本で唯一と言っても過言ではない貴重な資料を多数保有しているものの、知名度や情報が非常に少ないという課題があるため、その膨大な蚕糸業関連資料から猫瓦のような題材を幾つも出しそれに沿って資料をデジタル化することで、多様なコンテンツを生み出していきたいとも感じました。

6月6日

午前中に一度自分と前川先生のみで、午後に全体の話し合いをし、地域のデジタルアーカイブの展望について何が課題であり、かつその課題をどのように解決すればよいのかについて考えました。その中で、アーカイブの内容に関しては見る人が資料に直に触れられるようにし、それを楽しめる環境づくりを行えることが最終的な課題として決まりました。また、アーカイブの存在を広めるため、自分が今行っている小諸の蚕糸業のデジタルアーカイブをデジタル化に興味を持つ小諸の人たちと接触し、話し合いを行う機会を設ける必要があると思いました。今までは単に自ら出来ることとして捉えていた探究を今後はどう社会的課題として捉え、解決していくかが重要になっていくと考えられます。

6月10日

7/2,3より小諸市でイベントが開催されます。詳細は下記 URL により記載しています。興味のある人はぜひ参加してみてください。URL:<https://d-commons.net/uedagaku/komoro1?c=&p=9280>

6月13日

今回は山崎民子さんと意見交換をし、猫瓦を通した上塩尻の蚕種製造業への取り組みについて話し合いました。また、個人プロジェクトでは小諸のデジタルアーカイブをどのように外部に知らせるかについての解決策を考えました。これらの活動で共通する課題としては蚕糸業に対する興味をどのように引かせるかという点が挙げられ、猫瓦などを主軸にすることによって身近なものに興味を持たせることから始め、蚕糸業の興味へと昇華していくことが重要な要素となっていこうと感じました。この点を意識しながらプロジェクトに取り組んでいきたいと考えました。

6月20日

今回は上塩尻地区で猫瓦の調査とゆうすげと蝶の里の訪問、夜には西部地域まちづくりの会部会に参加しました。その中で印象に残った点として、西部地域の部会で子供たちの夏休みの自由研究にデジタルマップを利用しようという案が出た点で、今まで経験したことのない画期的な取り組みであると非常に感じ、情報共有の経験値を上げる良い機会であると考えました。そのため、小諸での探究や藤本蚕業歴史

館のプロジェクトを主軸とすることは変わりませんが、情報共有を考える場として西部地域にも少し関わっていきたいと思いました。

6月27日

今回は、13:00より前川先生と主に藤本蚕業プロジェクトと小諸のデジタルアーカイブの今後の方針について話し合いました。その後、先週の西部地域部会で出た子供たちの夏休みの自由研究にデジタルマップを利用しようという案の具体的な構成案について飯高さんと福田君と話し合いました。前者の具体的な内容に関しては、横並びの年表を題材に、膨大な資料のデジタル化、及びその資料の活用にあたって重要なより良い歴史的事柄の情報編集について話し合いました。後者は、デジタルマップの構成や活用案について話し合い、具体的には子供たちの自由研究の内容に応じてデジタルマップ内でカテゴリ化し、子供たちの自由意志な投稿や内容を言語化するといった体験を行えるようにといった案が出ました。

7月6日

投稿が遅れてしまい申し訳ありません。今週ですが、月曜日に新たに「読取革命」というソフトを使用し藤本蚕業資料の目録の読取りを行い、火曜日には読み取ったデータの再構成、及び藤本蚕業歴史館にて宮下さんと話し合いを行いました。データの再構成を行った理由としては、目録は非常に詳細に整理がなされているという長所を持つ反面、紙で見せることを念頭に置いた構成をしているため、機械がデジタルデータとして認識しづらいという短所を持っているためです。話し合いにおいては、館内の資料をどのように外部に認知させていくかについて主に話しました。その中で、一度中学生に館内に来てもらい、自主的な興味を抱かせるという構想がなされ、その対象として保管資料の上に置かれている本が良いのではないかと考えました。本は基本的に分野を絞らず、雑多に置かれているという特徴を持っているため、多方向からの興味に応えやすく、中学生が地域に歴史や文化に触れることが資料と比較して容易であると思われるからです。この中学生に来てもらうという案は地域教育を進めるうえで非常に興味深いため、どのようなプロジェクトにするかは今後の課題になると思います。

7月11日

今回は、13:00に前川先生と主に藤本蚕業歴史館の可視化、及びデジタル化の広め方について話し合いました。その中では、特に高校の郷土研究会を通して高校生に藤本蚕業の資料に触れる体験を夏休みを利用させるといった案が出ました。藤本蚕業歴史館については、他に資料のデジタルアーカイブをアルバイトとして進める計画が始動し、今週の木曜日より開始することが決まりました。私に関しては、目録のテキストデータ化をひとまずは進めることになりました。また、17日の日曜日に小諸の氷風穴においてイベントが開かれ、その撮影をする予定であり、その際協力で

きる人を募集中ですので、参加できる人は誰でも良いので連絡していただければ幸いです。

10月3日

夏休みに撮影した藤本蚕業歴史館内の地域資料のデジタル画像及びそのリサイズ画像の公開を終えました。今後は、画像の記事投稿を進めていきたいと考えています。また、小諸の探究に関してもYouTube撮影の「いとのまち・こもろプロジェクト」全体への共有・共同作成の提案、試行を行っていきたいと思います。

10月10日

先週は以前 Classroom に挙げた小諸の動画を糸のまち・こもろプロジェクト全体に共有するという提案を行うため清水さんといつ頃が良いか話し合いました。私の授業との都合があり具体的な日程は決まっていますが、決まり次第提案したいと考えています。また、清水さんとは23日に開かれるキモノマルシェの展示について15日の午後3時より大学で前川先生と打ち合わせする予定です。

10月24日

日曜日に海野町で開催されたキモノマルシェに参加しました。内容としましては主に蚕糸業という興味を持たれにくい分野がメインでしたが、予想よりもはるかに多くの人が興味を持って展示を見に来ていたので非常に驚きました。また、今日は西部地域の部会に参加し、デジタルマップを利用した地域探究の教育の広め方について、部会のあり方も含めた議論を聞くことができ、非常に有意義な時間を過ごせたと思います。そして土曜日には上塩尻地区にある佐藤家住宅の見学会に参加し、知見を広めたいと考えています。

10月31日

今日は教員向け研修会を聞いていました。主にデジタルマップの投稿、および共有について話し合っていく中で、投稿するために街中を探検することで新たに街の魅力を発見することが出来たという意見が非常に印象に残りました。今週は、11/3に小諸市のイベントがあり、その撮影をする予定です。また、藤本蚕業の撮影資料の記事投稿も進めていきます。

10月31日

なお、イベント内容はデジタルマップより確認できます。URL: <https://d-commons.net/uedagaku/komoro1?c=&p=10114>

11月7日

今週は11/3に小諸市で開かれた講演会の撮影があり、また今日の午前中に神川小でデジタルマップの学習支援を行いました。講演会では、主に繊維の研究者目線から見た現代における蚕糸業の展望が語られ、新鮮な視点を得ることが出来ました。また、学習支援ではデジタルマップの投稿一つ見ても子供たちがそれぞれ違っ



た反応をしていると感じ、その中でも投稿上起こりうるミスをアドバイスなく自力解決できる子がいて非常に驚きました。今週はまた藤本蚕業資料の仕分けを行います。

11月14日

昨日は上田商工会議所にて、上田自由大学についてのシンポジウムに参加し、その様子を撮影しました。その中で、meetでも言いましたが、無言館館長で作家でもある窪島誠一郎さんの話が非常に印象に残りました。特に、他地域からの人々に冷たく、協力しにくいという上田独自とも言える土地柄について言及され、これが地域づくりにおいて念頭に入れるべき事実であると思いました。今週は藤本蚕業歴史館資料の仕分けを続けていきます。

11月28日

今週は上記にも書いてありますが、昨日の日曜日に上塩尻地区で街歩きを行い、その撮影をしました。千葉大学モリス先生を始めとした有識者の貴重な話を多く聞くことができ、非常に有意義な時間を過ごしました。また、明日には前川先生とKAN-PRO 中村さんと meet で藤本蚕業歴史館資料のデジタル化の更なる進め方について話し合います。また、先週も行った作業も継続してやっています。

12月12日

先週は報告でも言いましたが、土曜日に前川先生とデジタルアーキビスト講座を行い、アーカイブ構築やその進め方などについて話し合いました。また、佐藤宗家や蚕室などの主要施設の紹介や撮影した資料の興味深い点について発表したりもしました。今日の20時から今後の藤本蚕業アーカイブの作業の確認についてKAN-PRO 中村さんと前川先生と zoom で話し合いました。今週の後の予定では、土曜日に先週に引き続き講座を実施します。

12月19日

先週は引き続き前川先生とデジタルアーキビスト講座を行いました。zoomでも言いましたが、アーキビスト講座における参加者の特徴として、アーカイブの構築には関心を持っているものの、同時に自らのキュレーションの共有の場としてはアーカイブを見つめることが出来ないという問題があることが分かりました。アーカイブを目的ではなく手段として意識させることが今後の課題であり、そのためにはやったことを記録したり、振り返ったりする楽しさを伝えられる取り組みが必要であると感じました。デジタルマップはそうした取り組みの一例ですが、まずは自分のデジタルマップを積極的に更新してみて、そこから得る楽しさを言語化する所から始める必要があるのかなと考えました。今週の予定としては、金曜日に藤本蚕業のデジタル化作業があります。

12月26日

先週は金曜日に藤本蚕業歴史館の史料のデジタル化を再開し、いくつかの史料群をサイトにアップロードしました。また、今日も再びこの活動を行いました。1月には

アーカイブ講座も1回あり、デジタル化も3日行う予定です。冬休みは小諸で今まで撮影した動画を編集、アップロードしていきたいと考えています。